

大学コンソーシアムやまがた
ダイバーシティ推進ネットワーク会議
各機関の委員 各位

ダイバーシティ推進ネットワーク会議
議長 井上 榮子

第2回ダイバーシティ推進ネットワーク会議（持ち回り）の結果について

委員の皆様には本会議の活動に御協力を賜り、感謝申し上げます。

標記会議の結果を、下記のとおり報告いたしますので、来年度の活動に反映いただければ幸いです。また、男女共同参画状況アンケート結果に、山形県の参考資料を追記し、並び替えを行いましたので、再度お送りいたします。

今年度はコロナ禍の中でしたが、オンラインによる諸セミナーに多数の参加をいただき、11月末には全国ダイバシティネットワーク組織に県内の7機関が参画することになるなど、ネットワーク会議として大きな前進がありました。12月に7機関に対し、ダイバーシティ推進に積極的に取り組んでいる機関として「認定証」がそれぞれ交付されており、全国的なネットワークに接続することができました。

新たなステージを迎え、来年度以降も本会議が充実していきますように、各機関のご協力をよろしくお願い申し上げます。



記

1 情報交換

- LGBTの対応については本学でも課題と認識しているが、対応の検討には至っておらず、コンソーシアム加盟の各機関の先行的な取組みがあれば、参考にさせていただきたい。
- 本学では女性教員比率が30%以上を占めているため、その向上に向けた具体的取組みは特に行っておりません。また、LGBT対応についても具体的な着手には至っておりません。
- ワークライフバランス推進に向けた取組状況
 - ・一斉退庁日の設定や年休取得の促進などを実施
 - ・効果のあった取組み
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う学校休業に対応するため特別休暇が設立され、職員が取得しやすい環境を整備できた。
 - ・LGBT対応状況
 - ・男女の区別がない多目的トイレの設置。名簿や学内各種申請書への男女記載なし。
 - ・数値に現れない部分での男女参画、ダイバシティのための取組み
 - ・仕事での男女を分けた事務分担等はなく、仕事上で男女差を感じる場面はほとんどない。
- 山形県立産業技術短期大学校への回答
 - ・県内の高等教育機関等への県内高校生の進学を促進し、若者の県内定着を推進するため、県でポータルサイトを設置・運用するとともに、パンフレットを作成・配布し、入学者募集活動（情報発信）に対して支援を行っている。

2 令和3年度計画についての意見・要望

- テーマを決めた意見交換会の実施により、各校が実施できることを増やしていくことが男女参画・ダイバーシティの推進につながる。
- ・全国の進んだ事例を学ぶ機会（セミナー、事例研究等）があるとよい。

